

回復期リハビリテーション病棟入院料及び特定機能病院リハビリテーション病棟入院料におけるリハビリテーション実績指数等に係る報告書

保険医療機関コード	0710558
保険医療機関名	池田リハビリテーション病院
郵便番号	938-0801
住所	富山県黒部市荻生 821 番地
報告年月日	令和 8 年 4 月 5 日
直近の報告年月日	令和 8 年 1 月 5 日
届出入院料	<input checked="" type="checkbox"/> 回復期リハビリテーション病棟入院料 <input type="checkbox"/> 特定機能病院リハビリテーション病棟入院料

※（特定機能病院リハビリテーション病棟入院料を届け出ている場合は、以下における「回復期リハビリテーション病棟入院料」を「特定機能病院リハビリテーション病棟入院料」と読み替えること。）

1. 退棟患者数

①		7 年 7 月	7 年 10 月	8 年 1 月	8 年 4 月
②	前月までの 6 か月間に回復期リハビリテーション病棟から退棟した患者数	64 名	71 名	71 名	64 名

2. 1 日当たりのリハビリテーション提供単位数

①		7 年 7 月	7 年 10 月	8 年 1 月	8 年 4 月	
③	前月までの 6 か月間に回復期リハビリテーション病棟に入院していた回復期リハビリテーションを要する状態の患者の延べ入院日数	6,982 日	6,609 日	6,773 日	7,049 日	
④	前月までの 6 か月間に③の患者に対して提供された疾患別リハビリテーションの総単位数（i + ii + iii + iv + v）	42,856 単位	41,041 単位	40,174 単位	39,907 単位	
再掲	i	前月までの 6 か月間に③の患者に対して提供された心大血管疾患リハビリテーションの総単位数	0 単位	0 単位	0 単位	0 単位
	ii	前月までの 6 か月間に③の患者に対して提供された脳血管疾患等リハビリテーションの総単位数	9,437 単位	7,312 単位	7,575 単位	6,355 単位

	iii	前月までの6か月間に③の患者に対して提供された廃用症候群リハビリテーションの総単位数	9,829 単位	9,948 単位	10,611 単位	11,262 単位
	iv	前月までの6か月間に③の患者に対して提供された運動器リハビリテーションの総単位数	23,590 単位	23,781 単位	21,988 単位	22,290 単位
	v	前月までの6か月間に③の患者に対して提供された呼吸器リハビリテーションの総単位数	0 単位	0 単位	0 単位	0 単位
⑤		1日当たりのリハビリテーション提供単位数 (④/③)	6.14 単位	6.21 単位	5.93 単位	5.66 単位

3. リハビリテーション実績指数

①		7年7月	7年10月	8年1月	8年4月
⑥	前月までの6か月間に回復期リハビリテーション病棟を退棟した回復期リハビリテーションを要する状態の患者数	91名	93名	92名	92名
⑦	⑥のうち、リハビリテーション実績指数の計算対象とした患者数	64名	71名	71名	64名
⑧	⑦の患者の退棟時のFIM得点(運動項目)から入棟時のFIM得点(運動項目)を控除したものの総和	2,258点	2,340点	2,221点	2,156点
⑨	⑦の各患者の入棟から退棟までの日数を、当該患者の入棟時の状態に応じた回復期リハビリテーション病棟入院料の算定日数上限で除したものの総和	51.02	54.67	51.67	50.95
⑩	リハビリテーション実績指数 (⑧/⑨)	44.26点	42.80点	42.98点	42.32点

4. 除外患者について(届出の前月までの6か月について以下を記入する。)

⑪	届出の前月までの6ヶ月	7年10月	7年11月	7年12月	8年1月	8年2月	8年3月
⑫	入棟患者数	15名	13名	18名	12名	16名	17名
⑬	高次脳機能障害患者が退棟患者数の40%以上であることによる除外の有無	有・●	有・●	有・●	有・●	有・●	有・●
⑭	⑬による除外がある場合は除外後の入棟患者数(⑬が有)	0名	0名	0名	0名	0名	0名

の場合のみ)						
⑮ リハビリテーション実績指数の計算対象から除外した患者数	4名	3名	5名	3名	4名	5名
⑯ 除外割合 (⑮÷(⑫又は⑭))	26.7%	23.1%	27.8%	25.0%	25.0%	29.4%

5. 高次脳機能障害患者が40%以上であることによる除外について(⑬が有の場合には、それぞれ⑪の7か月前から前月までの6か月間の状況について記入。)

※()にはそれぞれ⑪の前月を記載	7年4月 までの 6か月	7年5月 までの 6か月	7年6月 までの 6か月	7年7月 までの 6か月	7年8月 までの 6か月	7年9月 までの 6か月
⑰ 6か月間の退棟患者数	名	名	名	名	名	名
⑱ ⑰のうち、高次脳機能障害の患者数	名	名	名	名	名	名
⑲ 高次脳機能障害患者の割合 (⑱÷⑰)	%	%	%	%	%	%

6. 前月の外来患者に対するリハビリテーション又は訪問リハビリテーション指導の実施
(あり・なし)

[記載上の注意]

- ①については、毎年7月に報告する際には、前年10月、当該年1月、4月及び7月について記入する。別の月に報告する際には、報告を行う月及び報告を行う月以前で1月、4月、7月及び10月のうち直近の月について記入する。ただし、新規に当該入院料の届出を行うなど、当該月について算出を行っていない項目については、記入は不要である。
- ②はリハビリテーション実績指数の計算対象となったものに限る。
- ④は選定療養として行われたもの及びその費用が回復期リハビリテーション病棟入院料に包括されたものを除く。
- ⑫は入棟時に回復期リハビリテーションを要する状態であったものに限る。
- ⑮の除外患者数は、入棟日においてFIM運動項目の得点が20点以下若しくは76点以上、FIM認知項目の得点が24点以下、又は年齢が80歳以上であったことによりリハビリテーション実績指数の計算対象から除外したのものに限る。
- ⑯の除外割合は、⑬が「有」の場合は⑮÷⑭、「無」の場合は⑮÷⑫とする。
- ⑰は在棟中に回復期リハビリテーション病棟入院料を算定した患者に限る。
- ⑬、⑱、⑲の高次脳機能障害とは、「基本診療料の施設基準等」別表第九に掲げる「高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷の場合」に該当する、回復期リハビリテーション入院料が算定開始日から起算して180日以内まで算定できるものに限る。
- 「前月の外来患者に対するリハビリテーション又は訪問リハビリテーション指導の実施」については「あり」又は「なし」の該当するものを○で囲むこと。